

ギリシャ文字は、ギリシャ語を表記するのに用いられる文字です。大文字と小文字があります。アルファ(Α)、ベータ(Β)などの文字です。

ラテン文字の元になっており、両者には形の共通する文字もあります。例えば、ギリシャ文字のアルファの大文字(Α)は、ラテン文字の対応する「A」(エー)と同じ形です。ただし文字コードでは、形の区別が困難であっても、ラテン文字とギリシャ文字という異なる文字体系(用字系, script)ではそれぞれに独立した符号位置を与えるのが普通です。

科学分野ではこの文字が符号のように用いられることがあります。例えば、星座の中の星を示すのに 星、星のようにいたり、放射線の種類として 線、線、線のようにいたりします。

ギリシャ文字を収録する主な文字コード

- ISO/IEC 8859-7 - ISO/IEC 8859 シリーズの一つ。8ビット符号表の GL 領域 (0x20-0x7F) に ASCII, GR 領域 (0xA0-0xFF) にギリシャ文字集合を置いた形で用いる。
- JIS X 0208 - ギリシャ文字の大文字小文字を含んでいる。
- JIS X 0213 - JIS X 0208 に対し、シグマ小文字の語末の形(ファイナルシグマ)を追加。この追加にはギリシャ政府からの要請があった。
- Unicode ならびに ISO/IEC 10646